



発行所
共同観光開発株式会社
社長 金古 通
いわき市平字田町75番地
電話2104・2105番
小名浜支社電24049

賀正



・カバンの専門店

福山

平・二町目電2317

羊の新春

水戸 雪子

緩やかな尾根がバラ色にきらめく
助右衛門沢のあさあけ

めん羊の頭、一頭は
生き生きとした瞳を
ひんがしの空に向け
雲を払拭した一九六七年

この自然の静もりの中に
息吹くめん羊の群れ
牧場は虚飾を去り
ろんろんと精彩を広げる

海拔五五〇メートルの山頂
風は光り ひかり
見はるかす太平洋の蒼さ
この上に続く群青の天
その下に雑草を食むめん羊

褐色の丘 黒い土
このあたり緑の生命がひそみ
春をたたみこめた遠くの山脈が
迫るようにしあわせを伝える

脈うつ新生の文化都市
銀鱗ひらめく大洋
巨体横たう船影
発展の伴奏響く生産地帯

日本列島の人たちは
きびしく人類の平和を支え
この年もまた新春の
うるわしい郷土をいとしみ
ああ輝く希望の一つ一つに生きる

(田代町黒田牧場にて)

—安斎孝行撮影—



あけましておめでとうございます



野崎社長

ごあいさつ

市が誕生しまして、本年は希望に満ちた新年を迎え誠に同慶の至りです。

当社も、新産業都市に即応した経営をして、当地方経済の発展に寄与したいと意願しております。

申すまでもなく、旅客運送事業は、お客さんに対するサービスが第一でありますから、お客さんの利便をはかり、サービスをモットーとして進化する所存であります。

又、昨年の交通事故の絶滅を期して、真剣に乗務員を再教育する考えであります。

今後は労務、車両整備、営業、運行などの各部門の管理面を更に検討して、労使一体となり、皆様の足となって活躍したいと思っております。

何卒旧年ご指導ご支援をひととお願ひ申し上げます。

皆様の健康とご多幸を祈願し、謹んで新春のご挨拶といたします。

昭和四十一年新春

福島県いわき市平字菱川町三番地

常磐交通自動車株式会社

取締役社長 野崎 秀 幸



常磐交通自動車株式会社

本社 いわき市平字菱川町3の1 電話(大代表)7151

に次いで大都市となった。ひらかな綴りの都市名も青森県の「むつ市」に次いで「番目」そういつた点でもいろいろの話題をよんだ合併問題は数年前から話題にのぼっていたが、積極的に推進されたのは、三十九年三月、常磐・郡る。

将来はこの臨海工業地帯に無機化学の一大コンビナートをつくることとする計画も進み、すでにその第一歩として、日本水素は堺化学に月間二〇〇〇トの硫酸を供給するために尿素工場を建設している。

常磐地区が急速に工業地帯化しているのは、前述の小名浜港の

県として、この地帯を常磐地区、中間地区、郡山地区の三つに大別し、常磐地区は小名浜港を中心とした臨海工業地帯となり、大きな発展を約束されている。その発展の原動力のひとつとして、小名浜港があげられる。同港は元来は常磐炭鉱の石炭の積出しと、漁業の基地として栄えてきたが、ここ数年毎年二〇億円の資金整備のほか、国道六号線と常磐線磐城越前線と陸上交通網の便に負うところが大きい。しかも東京までわずか一〇〇キロ、首都圏への近距離にあるという強味をもっている。そしてこの地域は、阿武隈山系から流れ出る多くの河川によって工業用水が確保され、東北地方の労働力が得られることも有利な条件となっている。

が投じられ、その飛躍的な充実ぶりはめざましい、現在三埠頭が整備されているが、第四埠頭も港湾警護会を通過しているので、まもなく着上がり、一〇年後には第七埠頭まで完成する予定で、一七五〇〇〇トンの貨物船を横づけにする埠頭を七つも持つ巨大な港になる。

たとえば将来旧平市は行政、経済文化などの中心地をめざし内郷は住宅地帯、また旧常盤は温泉あるいは公園施設の源と相まつて、観光レクリエーション地域として発展していく。そのため、南部の工業地帯（旧磐城市、勿来市）とは緑地帯によつて区分し、公害の防止対策もこの緑地帯の中心を主

四十年度の小名浜港の貨物取扱量は、二七三万トであつたが、五十年度には一〇七七万トに達する見込みという。そうなれば、現在の神戸港なみの貨物取扱港となり、日本でも屈指の港に成長するのだから、小名浜には、戦前からある日本水素がコークス、化学肥料、工業藥品などを生産し、新日本化学が海水を利用して上質塩、マグネシウム、小名浜製錬が電気銅、硫酸を製造する。このほか、小名浜の発展を期待したい。

を過ぎた。キリストは「私はよい羊飼ひである」と自称したという。これは羊飼ひに對する羊の信頼が、神と人との關係をたえて言つたことばである。社会生活で他人を信頼し、他人から信頼されることは、むずかしい。日々平凡でもよい、誠実な態度で事に當り、他人に信頼される人間になるよう努めたい。

長い。年数にして数えと十三三年にもなる。そのわりに上達していいものでもないけれども何んかの収穫はあつたと思ふ。小学校の頭母が洋装の内に職をしていたから私もつい気分を取られて自然と針と糸が手に付いていたのかも知れない。などと考へると楽しくまた懐しくもなつてゐた。

て早速いわき市役所入り。自分で急いだのか、追い立てられたのか

お裁縫を習つて早くも七

年もたつてしまいました。時にはお勤めをやつてみようとかなと考えたこともあるのですが、まず自分の身の回りをきちんとかたずけてからと想っています。



未^み年^{ねん}はわかと
抱^{かか}負^へは豊^{とよ}富^{とみ}に

習うものもよし学ぶものもよしき
ちんと自分で立てた目的を達成し
てからさらにしつかりした心構え
で望みたいと、早かれ遅かれ考え
ていきたい。意欲ある人生とは考
えれば考えるほど困難になつてく
る。未成年までで今年こそは許す
範圍内で手を伸ばしていきたいと
考えたいです。

（又義郎大將打竹下木下不
師生）にて新卒

悲しくも冬眠を知らぬ人間の宿命
乾燥の中火との生活に入る
己が生命の生活を護る火が
無残にも己が生命を脅かす
いたましい矛盾の現実の中に
諦観と忘却に逃れて
今日ををして明日を愚吹く
そこに不幸の災害がひそむ
あわれそれぞ火災期という

月旅行
を近い
将来の
人智を

「新しい年を迎えて」今

ちやうど兎当がつきませんでした。そのうち新年を迎えようと猛スピード。その中でも趣味を生かしました成果をあげたものも幾つもあります。好きな「お花」は最後までやり通して教授にもなる資格をとりました。帰宅して日曜日などには手をいれますが、つい役所の仕事で手が回らないときもありました。このお花の中から得られた落ち書きというのは、生活にはもちろん、自分を試すのも大に役に立ちました。もう一つの成果は私共集いの地区でサクラ会という集いができたことです。若人たちのグループですが、第一の目的は親睦を図るということ。老人の慰問、人手不足な農家への手伝いそして友達間で起きた問題の研究発表、なかなには男女交際についてと、いろいろなテーマを取り上げられました。これらを基礎に今年度は、グループの会員をふやし広めていき、力強く生き抜いていき、そして自分の幸をしっかりと抱きしめていたい。

(いわき市勿来園田北町
いわき市教育委員会)

年こそは良い年であつたを——と
離しも思つけれども現実は簡単に
バラ色にはなつてゐない。社会に夜
明けの微光はさしてゐても、まだ
日の出には間がある。

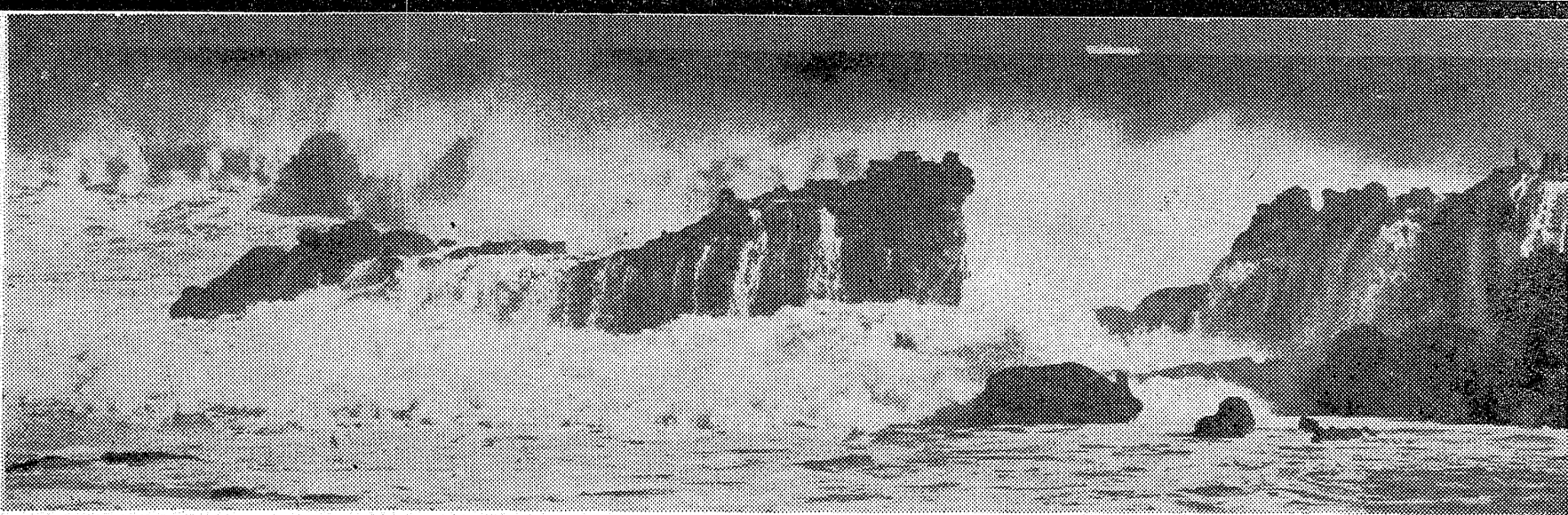
世界のさまざま出来事が一瞬
脳裏に映るだけで思考の中に消化
される余裕を与へない。頭の中は
雑多の不消化物が沈澱してつても
カランとならぬ。現代のよ様な激
しい多動的な世の中の変遷を、こ
つたい人間の頭脳が知恵がどうも
消化できないといふものだ。

人國が作つた社会ではあるが、
もつとも、何時でも、またその巨輪運
動をわかつたすなな顔をしてゐる
現代人がいゝからか、こゝにこゝに
ゐる。と、エノケに代わつて、マ
ジとなり、数多くの新しき生命をこ
世に出るのだ。

希望に胸をきめ、かき世代もあ
るのだ。また、しづむと自分の
の威を教え、人の命を損入もある。
どう、この新しい偉大な動の中で
こゝつかの新しい身はとなつて、
城を現出したもの、だ、今年、二十
三

(い)わき市平岡呂上

平次所税務課(勤務)



謹んで
新年のお慶びを
申し上げます

合掌感謝三代六十六年

蜜柑の暖かい愛情と厚いおつき立てには、くまれて、先代駕馬目勝次郎大妻が黒星とし、て創業以來六十六年目の新年を迎えさせていただきました。明治、大正、昭和三代にわたる永い水いと愛顧に合掌感謝あるのみです。ついでに、日本一広い新都市といふ壱市とし、二時正に、日本一広い新都市といふ壱市とし、

て誕生、誕生いたしました。昭和四十二年の新年にあたりまして、皆様の利益を護る店大黒屋として、深い反省と責任の重かつ大なることを痛感いたしましたので、身ひきしまる次第でございます。

「たたくために新いわき市及び浜通りのお客様の御要望におこたえしていただくために襟を正して、全社風一丸となつて使命達成に向つて努力精進を尽しぬく決心でございます。」

第二に「新いわき市及び浜通りのお客様の要望される建物作りに向つて」

第三に「新いわき市及び浜通りのお客様の」

要望される品揃えに向つて、
第三に「新しいわき巾着及び浜通りのお客様の
要望されるサービス、人間作りに向つて
第四に「そして地域社会のお役に立たせて
いただく」と同時に、会社の発展と
従業員の仕事が一致する経営と
の並び、価値を顧客の目と心にこめ

四、なにこそ本年も大黒屋「いわき平百貨店」「いわき小名浜店」「いわき植田店」「いわき内郷出張店、食品ダイヤストア」「いわき平

町屋店」「いわき平五町目店」「いわき平仲
間町店」のオール大黒屋をきびしい愛情と峻
厳なる叱声のもとに指導ごんたつ下さ
いますことを深くお願ひ申し上げます。

昭和四十二至元巨
取締役社長 馬目勝次郎

オール大黒屋従業員一同



益を護る

黒屋

ドスト

フ(代) 3

時 30-6

様の利益

大黒

イヤモン

と3丁目 デ
定休 = 常勤

皆
ダ
やを中汗
*時

◎平百貨店(平) 二九一六

◎小名浜店(磐城) ②二四四四
◎植田店(勿来) ②三〇三八

◎内郷出張店(平) 三七七二
◎ダイヤストア三町目店(平) 二二九一

◎ダイヤストア五町目店(平)二二九一
◎ダイヤストア仲間町店(平)二二九一

2日から

新春感謝初売り出し
食品が一年分当るノお年玉福引付き

☆元三は木まわして、いじりまわす

二五五

あけましておめでとうございます 新年紙上名刺交換

(順不同)

いわき市議会副議長

中野豊須美

内閣総理大臣
佐藤栄作秘書

山田栄三

盛高屋社長

会田勝康

平冷蔵(株)社長

鈴木常松

いわき市平才樋小路電二三六

阿部政孝

常磐郵便局長

宮橋久育

堀江工業株式会社
取締役社長

長谷川常吉

高木医院

高木浩雄

平才樋小路 電四三七三

平電報電話局長

新川吉雄

いわき市議会議員
県都市計画審議会委員

馬目智夫

新田目病院長

新田目五郎

松村病院理事長

松村亨

民社党県連会長

田中重光

日本電信電話公社
常磐電報電話局長

大枝利雄

園部素男

衆議院議員

松井政吉

松尾病院長

松尾公平

常磐警察署長

佐藤愛義

株式会社加地和組
取締役社長

川和浩一

日本交通公社
平営業所長

林利雄

いわき市議会議員

平沢均一

県議会議員

佐藤重信

ユタカ建設工業株式会社
平営業所長

佐藤房次

佐藤輪業社長

佐藤重信

滝口木材社長

滝口寅雄

森永牛乳県販売協会理事

栗本安三郎

内郷地区振興特別委員会
委員長

草野三郎

いわき市湯本財産区
議会議員

仁可寅吉

県議会議員
自民党県連副幹事長

菅波茂

佐久間一商事
砂利、砕石、販売業

佐久間富士弥

県議会議員

越田和久雄

竹林病院長

竹林貞吉

いわき市議会議員

坂本昌雄

吉田解体(株)社長

吉田道夫

いわき市平2町目
TEL 3851

本社 磐城営業所
いわき市平字新田町前1の4 電話(平) 2277.6390.3555
いわき市小名浜定西70 電(磐城②) 3623

謹賀新年

昭和四十二年元旦

郷土の銘酒

鶴仙



松吉屋酒造

いわき市平中平窪 電話三三〇

明けまして
おめでとうございます

昭和42年元旦



70度・130度・2秒間完全殺菌
森永モモ牛乳

森永牛乳平販売店

代表社員 齋谷藤三郎

いわき市平谷川瀬 電話6819~3934

賀正



昨年中は格別のご愛顧ありがとうございました
本年もよろしくお引立ての程お願い申し上げます

藤越化粧品店

平・銀座通り 電話2907

牧場の夕月

笛にあつめて たざがれを
羊とともにかえりゆく
牧場の夕月の影のせて
あふるわしき

水の流る

ほのかに霞む 野を越えて
誰の歌やら なつかしや
緑も青も ほのぼのと
消えゆく影よ

空の鳥

牧場の花は 露にぬれ
羊も子も ねむれども
流るる歌の なつかし
崖辺にたては

月の光

ミレーの「羊飼いの名画」となり、北大の寮歌の「羊群曲」や「牧舎に帰る」の中にも歌われている羊は、人間の為に生れて来たような動物で、皮を剥いて調理法がられ、毛を洗って文字を書く筆となり、肉は札幌名物の鍋となつて、人々の体を温めている。

「牧場の名月」は、私の羊を歌った数少ない歌の一つで、レコード化されて学校関係に送られた。

りん羊と和蘭さん

ことしはビジヤ年。そこでかつては平羊組合長をやり、自らも羊を飼っていた、いわき市平下荒川の龍門寺住職、光英博明師(七四)に、平羊の話を聞いてみた。

平羊は十年ぐらゐ飼つた。一時はオス、メス六頭を飼ひ、うんと太らしたわい。

平羊という動物は、それは可愛いもんじや。成長すると一頭から洋服一着分がとれ、大きなオスだとゆうに二着分もとれるよ。自分は毛を刈りとり、丸裸になつて。肉はシンギスカーン料理して、人間さまに一身



を捧げておごらる。肉を、あのモグリの頭のような鍋でジージと音をたてて煮る。

日本にはじめて羊が来たのは、推古天皇(五九二)の秋、百濟(クダラ)からたて記録にある羊の肉は美味であるところから、美しさの代表とされ「美」(アツモノ)や「美」の文字が生まれ「義」「義」「善」などの文字も出来た。

宝暦十三年(七六三)江戸の田村元雄が細羊を輸入して和蘭紗(ラシヤ)を製造したことがあり、文化年間(一八〇四)には、幕府が支那から細羊を輸入し、江戸の奥町にあった養羊園の中に飼育し、その数三百頭に達したという。



斎谷藤三郎

達したという。

羊は古来から肉の正しい動物とされ旧約全書にしばしば登場する。そのゆえに神々の祭壇には、必ずといっていいほどその肉が供えられる。羊はちよつと見たところ、種類がすくないようだが、三十数種類もあつてリンゴ(英産種)リスター・デインコレイ、ブロウンス、ピカルディ、レーゼンスタア、メリノ(スペイン優良種)パーバリン(四本角)などが主なるものである。

インツパ物語に、集賢性に富みながら、勇くおとなしいために、いつもヒドイ目に遭う羊の話が多々出ている。その一つにオオカミに追いつめられた小羊が寺へ逃げ込んだ。オオカミはなんとして小羊をおびき出すとして「早く出なさい。出ないと坊主につかまて祭だんの供物にされるよ」というと小羊はいつた「お前に喰われるより祭だんの供物になる方がよっぽどましだ」

どこか現在の世界状況にたとへてあるように思われてならない。(詩人)

あけましておめでとうございます

1967元旦

■平店電(平)7171 ■小名浜店電(磐城)4191~2 ■榎田店(勿来)2171 ■湯本店(湯本)4141



あけましておめでとうございます 新年紙上名刺交換

(順不同)

いわき失業対策事業所長

山瀬春巳

長橋病院長

鈴木将夫

大和田耳鼻咽喉科医院

大和田邦司

いわき市議会議員

松本都宏

V.S科工株式会社、社長
農学博士
えねい ひさし

江井長康

常磐ヤンマー製作所
取締役社長

新妻良平

後藤医院

後藤金久

株式会社常交タクシー
社長

芹沢重雄

平商業高等学校
商友会長久野金物店
平・三町目 電話四六四八

平郵便局長

荒谷庄吉

全日本肖像美術協会
審査委員

永山菊男

高久医院

高久孝

藤越社長

江島一雄

加茂武久

平看護婦家政婦紹介所

清野牧子

安斎外科医院

安斎光男

磐城第一高等学校校長
平高等学校第二高等学校校長
福島県私立学校協会会長
福島県私立学校協議会会長

山崎盛哲

平土木事務所長

上村圭一

県議会議員

高萩邦男

井坂産婦人科医院

井坂浩三

矢吹電話工業株式会社
取締役社長

矢吹一

平商工会議所会頭

山崎賢助

諸橋久太郎

福地医院

福地恒男

佐藤内科医院

佐藤謙

株式会社佐藤測量事務所
代表取締役

佐藤武男

鈴木茂幸

いわき市議会議員

志賀孝三郎

いわき市教育委員会教育長

大和田道隆

いわき市議会議員

石山一治

いわき市長

大和田彌一

嘉見家

飯沼実

いわき市平南町七六